

令和 8 年度 東京都立板橋高等学校 全日課程 学校経営計画

「この 3 年間で未来につなぐ -Think positive! Be active!-」

1 目指す学校像

【教育目標】 「個性や能力を伸ばし、生徒一人一人の自己実現を援助する。」 「自主性を大切にし、実行力と創造力に富んだ生徒を育てる。」 「健全な心身の成長を促し、社会的責任を自覚した生徒を育てる。」 「学ぶ喜びを体験させ、生涯にわたって学ぶ意欲・態度を培う。」
(1) スクール・ミッション（期待される社会的役割） 「生徒一人一人の自己実現の援助」「自主性の尊重」「健全な心身の成長の促進」「学ぶ意欲・態度の育成」を教育目標とし、自発的な学習の推進や部活動の活性化を通じて、授業規律や規範意識の向上を図り、変化の激しいこれからの社会を生き抜く知・徳・体のバランスのとれた人間を育成します。
(2) スクール・ポリシー 【グラデュエーション・ポリシー】 育成を目指す資質・能力に関する方針 〔目指す生徒像〕社会的に自立し、主体性をもって行動できる生徒を育てます。 〔育成する資質・能力〕《自ら学ぶ力》 《他者と協力して課題解決を進める力》 《一歩前へ踏み出す力》 《規律、健康、生活習慣を意識して生きていく力》
【カリキュラム・ポリシー】 教育課程の編成及び実施に関する方針 ・学校設定科目の増設により、多様な進路希望に対応していきます。 ・習熟度別授業、少人数授業など、きめ細やかな学習指導を行います。 ・ICT機器の活用、読解力と自ら学ぶ意欲の育成、主体的対話的で深い学びの視点を踏まえた授業等、効果的な学習指導を行います。
【アドミッション・ポリシー】 入学者の受け入れに関する方針 規律と自主性を重んじる校風の下、生徒一人一人の個性を育む教育をモットーとしています。そこで、本校の特色を理解し、以下の項目に該当する生徒を望みます。 ・全ての教科に対して、真面目に学習活動に取り組む生徒 ・社会や学校のマナーやルールをしっかりと守り、他人に対する思いやりのある生徒 ・自分の将来を真剣に考え、本校での学習活動をその目的の達成に生かす生徒 ・学校行事、生徒会活動、部活動等に積極的に取り組む生徒

2 中期的目標と方策

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学校全体（学校経営・学校運営） 以下の各項目に取り組み、学校経営計画「1 目指す学校像」の具現化を図る。 ア すべての生徒の進路希望の実現 進路指導部、学年及び教科が連携し、第1志望に向けた指導を行い、すべての生徒の進路希望を実現する。 イ 生徒の心の健康の保持増進 生徒が心理的に安定して学校生活を送り、様々な問題に適切に対処しながら、自分らしく成長・自立していける力を育成する。 ウ 指定校事業の確実な実施及び有効活用 文部科学省及び東京都教育委員会の指定校事業を有効活用し、教育活動の充実を図る。 エ デジタル技術を活用した教育の推進 デジタル技術の有効活用により、学びをより深く、個別最適化し、誰もが学び続けられる環境をつくる。 オ 教員相互の授業参観の実施 教員相互の授業参観を実施し、授業力の	(1) 学校全体（学校経営・学校運営） ア すべての生徒の進路希望の実現 ①進路行事の充実（面談を含む） ②土曜講習、夏期講習等の充実 ③面接指導及び小論文指導の充実 ④外部人材の活用 ⑤その他 イ 生徒の心の健康の保持増進 ①いじめの未然防止・早期発見・早期対応に関する取組の実施 ②「SOS」の出し方教育、メンタルヘルス教育等、自殺防止に関する取組の実施 ③不登校・中途退学の未然防止や早期支援等に関する取組の実施 ④スクール・カウンセラー及び外部機関等の活用 ⑤その他 ウ 指定校事業の確実な実施及び有効活用 ①教育課程実践検証協力校（理科） ②理数研究拠点校 ③都立高校生等の海外派遣研修 ④AI を活用した英語スピーキング力向上事業実施校 ⑤外部検定試験実施校 ⑥教職大学院連携協力校（地理歴史科） ⑦その他 エ デジタル技術を活用した教育の推進 ①Teams（Microsoft 365）等の活用促進 ②一人1台端末の活用促進 ③ICT機器等の効果的活用 ④統合型校務支援システム及び定期考査採点分析システムの有効活用 ⑤その他 オ 教員相互の授業参観の実施 ①教員相互授業参観週間の実施
--	---

向上、学力向上を図る。 カ 募集・広報活動の充実 効果的な募集・広報活動により、入学選 抜応募者数の増加を図る。 キ グローバル人材の育成 基盤となる英語力の向上及び世界の中 で通用する視野・態度・能力を備え、国内 外で活躍できる人材を育成する。 ク 教育課程の管理 教育課程委員会を中心として、適正な 教育課程の管理を行う。 ケ 入学選抜方法の改善 教務部及び入学選抜委員会を中心とし て、本校の目指す学校像が実現できるよ う、入学選抜方式を検討する。 コ 経営企画室の学校経営への参画 適正な予算編成と執行などの財務管理 及び安全な教育環境の維持・管理を徹底 し、学校経営を支える企画提案を図る。	②授業参観シートの活用 ③その他 カ 募集・広報活動の充実 ①迅速なホームページの更新 ②ホームページを閲覧する側に立った適 切な管理 ③受検生のニーズに沿った広報活動 ④外部の学校説明会等への参加 ⑤中学校や学習塾への働きかけ ⑥その他 キ グローバル人材の育成 ①積極的にコミュニケーションを図ろう とする態度の育成 ②主体的に学び続ける態度の育成 ③豊かな国際感覚の育成 ④世界の中の一員としての自覚と自己の 確立及び多文化共生の精神の涵養と協 働する力の育成 ⑤東京都教育委員会指定校事業及び外部 機関等の活用 ⑥English Conversation Hour の実施 ⑦その他 ク 教育課程の管理 ①教育課程の検証及び改善 ②選択科目の検証及び改善 ③習熟度別授業の検証及び改善 ④観点別評価の検証及び改善 ⑤その他 ケ 入学選抜方法の改善 ①ミスの無い入選業務への取組 ②実施要綱の検証及び改善 ③推薦選抜・特別推薦の検証及び改善 ④その他 コ 経営企画室の学校経営への参画 ①学校運営に対しての積極的な提案 ②学校諸施設の改善への取組 ③自律経営推進予算の費用対効果を念頭 に置いた予算計画の立案
--	---

サ 学校図書館の充実及び有効活用 生徒がキャリア形成できる学校図書館の充実及び有効活用を実施する。 シ 服務事故の根絶 教職員一人一人が教育公務員として高い倫理観と厳しい自立心をもち、体罰や不適切な指導、各種ハラスメント、個人情報の紛失等、服務事故の根絶を図る。 ス 人材育成の実施 OJTを推進し、若手教職員及び中堅教員の育成を図るとともに、属人的な力に頼ることなく、組織として課題解決に向けた業務ができるよう計画的な人材育成を実施する。 セ 生徒の体力向上 体育授業及び部活動等を通して、自ら体力を高めていく習慣を身に付けられる体力を育む。 ソ 防災教育の推進 様々な機会を活用し、能動的に防災に対	④適正かつ迅速な予算執行 ⑤学校説明会など広報活動への協力。 ⑥その他 サ 学校図書館の充実及び有効活用 ①読書の推進 ②司書教諭と学校司書が連携した図書整備業務の実施 ③生徒が自発的に調査・研究できる学習環境の整備 ④蔵書資料の調査及び稀覯本の発掘調査・研究 ⑤その他 シ 服務事故の根絶 ①服務規律の遵守 ②服務事故防止研修の実施 ③「体罰関連行為のガイドライン」、 「使命を全うする!」の活用 ④その他 ス 人材育成の実施 ①若手教員の研修計画に基づく指導教員による計画的な指導の実施 ②若手教員育成研修では主に授業力向上、中堅教諭等資質向上研修では、主に学校運営力向上の組織的な取組 ③全教職員相互による人材育成及び能力開発への積極的な取組 ④東京教師道場、教育研究員事業の活用 ⑤その他 セ 生徒の体力向上 ①スポーツライフの推進 (運動習慣の確立・定着・改善) ②健康的な生活スタイルの確立 (専門的な外部人材との連携等) ③多様なニーズに応じた運動部活動 (競技力の向上) ④その他 ソ 防災教育の推進 ①家庭・地域・関係機関との連携
--	--

応することのできる人材を育成する。 タ 特別支援教育の推進 共生社会の実現に向け、障害のある生徒の能力を最大限に伸長させ、社会に参加・貢献できる人間を育成する。 チ 施設の修繕・整備 魅力ある学校となるよう、施設の修繕・整備を行う。 ツ 働き方改革及びライフ・ワーク・バランスの推進 生活と仕事の両立及び調和を図り、教員一人一人の心身の健康を保持し、学校教育の質の維持向上を図る。	②「東京防災」「安全教育プログラム」「東京マイ・タイムライン」の活用 ③様々な想定による避難訓練の実施 ④教科指導の活用 ⑤その他 タ 特別支援教育の推進 ①個に応じた指導・支援の充実 ②特別支援教育に対する教員の理解推進 ③その他 チ 施設の修繕・整備 ①校内諸施設の危険箇所、破損箇所、老朽箇所の修繕・改善 ②教室等の改善及び有効利用 ③その他 ツ 働き方改革及びライフ・ワーク・バランスの推進 ①ＩＣＴ機器等のデジタルの力を効果的に活用した業務及び授業改善 ②統合型校務支援システム及び定期考査採点分析システムの活用促進 ③可能な限り電子起案の実施 ④校内研修・自己研修の活性化。 ⑤夏季休暇及び年次有給休暇の完全消化 ⑥育児・介護等と仕事の両立支援 ⑦その他
(2)「学習指導」 知識・技能、思考力・判断力・表現力、課題解決力、探究力、創造力を確実に身に付けさせ、進路・社会生活につながる学力を形成し、主体的に学び続ける力を育成する。	(2)「学習指導」 ア 授業力の向上 ①「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導内容及び指導方法の改善 ②教員相互の授業参観の有効活用 ③ICT 機器の積極的な活用 ④ICT 機器の効果的な指導法についての研究 ⑤定期考査の共通問題の推進 ⑥その他 イ 基礎・基本の定着及び学力向上 ①指導内容及び方法の改善 ②習熟度別授業、少人数授業など、きめ細

	やかな学習指導 ③講習等の計画的な実施 ④外部模試の有効活用 (データ分析、学び直し等) ⑤採点分析システム(リアテンダント)等の ICT 機器の積極的な活用 ⑥教科会の充実 ⑦観点別評価の検証及び改善 ⑧その他 ウ 自主的・自律的な学習の推進 ①自学自習の推進 ②自学自習スペースの有効活用 ③復習の習慣化 ④学習支援クラウドサービスの活用 ⑤その他
(3)「生活指導」「保健指導」 安全で安心な学校生活を送れるよう、生徒が社会の一員として自律的に生きれる力を育成する。また、生涯にわたって健康に生活できる基盤をつくれるよう、生徒が心身の健康を正しく理解し、自ら健康を管理・増進できる力を育成する。	(3)「生活指導」「保健指導」 ア 基本的生活習慣の確立 ①生活指導の意義の周知 ②時間の順守 (遅刻防止・チャイム着席等) ③身だしなみ指導の実施 ④挨拶の励行 ⑤交通安全への意識向上 特に、通学時の自転車ヘルメットの着用 ⑥携帯電話等及び SNS 等の適切な利用 ⑦薬物の乱用防止 ⑧担任や家庭、スクール・カウンセラー、地域、関係機関との連携 ⑨その他 イ 健康の保持増進 ①健康的な生活スタイルの確立 ②健康に関する指導の改善 ③健康相談活動の改善 ④学校保健活動の充実 ⑤保健室管理の改善 ⑥健康状況の把握と管理の改善 ⑦美化活動の徹底 ⑧食育の推進

	⑨担任や家庭、校医・薬剤師、関係機関との連携 ⑩その他
(4)「進路指導」 生徒自ら卒業後の進路を主体的に選び、実現できる力を育成する。	(4)「進路指導」 ア 進学実績の向上 ①早期からの意識付け (一段高い目標の設定) ②効果的な特進クラスの運営 (高い志の維持) ③土曜講習、夏期講習等の実施 ④模擬試験の有効活用 ⑤大学入学共通テスト受験の推進 ⑥統合型校務支援システムの有効活用 ⑦その他 イ 進路行事の充実 ①生徒の発達段階に応じた取組 ②進路ガイダンス、大学説明会等の実施 ③その他 ウ キャリア教育の推進 ①「人間と社会」「総合的な探究の時間」の授業の活用 ②教科横断的な指導 ③キャリア教育の振興に資する外部諸機関との連携及び優れた先行事例の研究。 ④その他
(5)「特別活動・その他」 特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事)、部活動を通して、協働する力、参画する力、生き方をつくる力を育成する。	(5)「特別活動・その他」 ア 人間関係の形成 ①対話の質を高める活動の実施 ②自発的・自治的な活動の実施 ③多様な集団への所属感・連帯感を高める活動の実施 ④多様性を理解するための活動の実施 ⑤その他 イ 社会参画意識の育成 ①校内における自治的活動の実施 ②学校内外でのボランティア等への参加 ③主権者教育及び消費者教育の実施 ④地域と連携した行事等の実施

	⑤その他 ウ 自己の実現 ①自己理解及び意思決定力の育成 ②協働体験活動の実施 ③自己肯定感を得られる活動の実施 ④その他
--	--

4 数値目標

() 内の値は、令和7年度の結果

生徒の学校満足度 (本校に入学してよかったと思える生徒)		90〔%〕	(89.8)
年間遅刻率 1クラス当たりの1日の遅刻者数〔人／組／日〕		1〔人〕未満	(2.83)
部活動加入率		75〔%〕	(72.0)
卒業時の進路決定率		95〔%〕	(95)
四年制大学進学率	(全体)	70〔%〕	(58)
	(特進クラス)	85〔%〕	(72.5)
学校説明会等の参加者数		4000〔人〕	(4639)
入学選抜倍率	(推薦)	4.00〔倍〕	(4.66)
	(一次)	1.50〔倍〕	(1.57)